

ことばは「こま」

ことばは昔から耳で伝

縄文時代の人も平安時代の人も江戸時代の人も

意志を伝えるに必要だ、伝へる

仲内の共通のことばとして方言が全くな

い

それと時代のたよって変化していった

言葉は伝染する

四国をよめる人々 横濱にも、横濱の

ソノジヤとハ、ソノジヤ

そのソノジヤとハが 一部変化して

ソノジヤケとハ、ソノジヤとハ 地位が少し

早稲と昔に変わっていった

移動 手づかちが、て国へこまが

行くこまを行くぞまか

こまのくりとハ おしずかた といわれた

先日青森のゴシヨカワう 自身の人

アリセント、に外国語をと思つてしる

イナハレ、イナハレ、フナリ、ハレハカ

アッて 雑音する

すゝといつちとちぶう  
子然の時のアラセ<sup>ア</sup>レ<sup>レ</sup>は  
ふうだ  
ひとりの単語をきく<sup>ク</sup>ワ<sup>ワ</sup>ン<sup>ン</sup>セ<sup>セ</sup>ン<sup>ン</sup>ズ<sup>ズ</sup>の变化  
もろく 活をきいていると  
とこのま身かわか  
知りあひとそ<sup>ソ</sup>う<sup>ウ</sup>な<sup>ナ</sup>人<sup>人</sup>は<sup>ハ</sup>何<sup>ナニ</sup>人<sup>ナニ</sup>か<sup>カ</sup>い<sup>イ</sup>た<sup>タ</sup>  
ことば<sup>コトバ</sup>つ<sup>ツ</sup>い<sup>イ</sup>乙<sup>チ</sup>  
亭州家<sup>テイシュウ</sup>に<sup>ニ</sup>き<sup>キ</sup>い<sup>イ</sup>て<sup>テ</sup>み<sup>ミ</sup>た<sup>タ</sup>い<sup>イ</sup>

2023  
3/21